

## 銭太鼓踊りとひょうたん廻し

9月25日午後7時30分より岡天満宮にて行われるこの祭りは、大牟田市の無形民俗文化財に指定されている。起源は不明だが、江戸時代（1603年～1867年）に始まったと考えられている。

銭太鼓踊りは、花飾りのついた笠と着物姿の若い女性や少女たちによって演じられる。彼女らは右手に6つの銭や鈴を入れた竹筒を右手で回し、数歩歩くごとに立ち止まっては竹筒で体を打つ。この踊りは稲作の様子を表していると考えられており、豊作を祈願するものである。

続いて行われる「ひょうたん廻し」では、墨を塗った顔の少年や男性たちが、昔ながらの作業着と草履を身にまとい、腰をかがめて踊る。右手に持った紙団扇で、左手に持ったひょうたんをはたきながらひょうきんな動きをして踊る。この踊りは、酒を入れたひょうたんを抱えてよろよろと神社に参拝する男の話にヒントを得たものと言われ、雨乞いの神に捧げられたと考えられている。

神社は新大牟田駅から車で10分ほどの距離だが近くに駐車場はない。限られた本数だがバスの運行もある。